

公募書類記入要領

履歴書、研究業績書の記入要領は以下のとおりです。それぞれの記入例をご参照の上、ご作成ください。

(1) 共通事項について

- ・ 履歴書、研究業績書は、添付している所定書式(A4縦型)をご使用ください。また、枚数が複数枚になっても構いません。
- ・ 履歴書の年は和暦で記入、研究業績書の年は和暦・西暦どちらでも構いません。

(2) 履歴書について

ア.「現職職名」について

- ・ 常勤・非常勤に関わらず、職名・所属・役職・地位等、従事する職に応じて実態がわかるように記入してください。

イ.「学歴」について

- ・ 学歴は、高等学校卒業以上の学歴(中途退学を含む。)のすべてについて始期及び終期の年月を記入してください。
- ・ 大学は、学部・学科名まで、大学院は、研究科名、課程名、専攻名までを記入してください。
- ・ 博士の学位を取得せずに、博士課程(後期)を修了するために必要な単位数を取得して退学した場合は、「博士課程(後期)単位取得満期退学」と記入してください。
- ・ 聴講生・研究生等や教育又は研究者として留学した場合は職歴の欄に記入してください。

ウ.「学位・免許等」について

- ・ 学位は学士、修士、博士の順に学位名、授与大学名を記入する。(ディグリーミル(ディグロマミル)による学位は記入できません。)
- ・ その他、教職免許などを記入できます。

エ.「職歴」について

- ・ すべての事項について、始期及び終期の年月日を年次順(過去から現在)に記入してください。退職している場合には、退職年月日を記入し、現職には必ず(現在に至る)と記入してください。
- ・ 担当科目に直接関係のある職歴は、主な担当科目を付記してください。

オ.「職歴のうち基幹教員歴」について

- ・ 基幹教員歴がある場合は、基幹教員歴を記入してください。

カ. その他について

- ・ 学会及び社会における活動等、賞罰については、以下の履歴書の例をご参照の上、記入ください。
- ・ 顔写真は縦4cm×横3cmのサイズのものを添付してください。

(3) 研究業績書について

- ・ 「著書」、「学術論文」及び「その他」の3つの業績の順に区分し、それぞれ発行、発表等の年月順(過去から現在)に番号を付けて記入してください。

(記入例) 著書(単著・共著)・学術論文・その他[判例評釈・訳書(翻訳・共訳)・総説・研究ノート・研究資料・報告書・学会発表・研究会発表(特別講演、総会、国際会議等、シンポジウム、一般講演)等]

- ・ 共著等、共同(分担)で執筆している場合は、担当部分を明記し、本人の分担箇所の数、総頁数〇〇頁中〇〇頁を担当)等と記入してください。この場合、本人を含む著作者全員の氏名を記入し、本人の氏名に下線を引いてください。なお、筆頭著者がわかる場合は、◎印を付けてください。
- ・ 博士の論文は、「〇〇〇(博士論文)」と明記し、単行本として刊行されている場合であっても、「学術論文」の区分に入れてください。
- ・ 刊行予定、未印刷の論文等は、受理済(accepted)、印刷中(in press)等を明記してください。
- ・ 研究業績書の右下の通し番号(頁)を記入してください。

例：履歴書

別紙①

履 歴 書			
フリガナ氏名	×× ×× ×× ×× ○ ○ ○ ○	現職 職名	福岡大学○○学部准教授
生年月日(年齢) (年齢は記入時の満年齢)	昭和○○年○○月○○日(満○○歳)		
現住所	〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19-1 TEL (092) 871-6631 E-mail nanakuna@adm.fukuoka-u.ac.jp		
学 歴			
年月 (年号は和暦)	事 項 (高校卒業から記入。大学以降では入学と卒業(修了)は行を改め、卒業(修了)行には()付きで学位名も記入。大学は、学部・学科名(学科名がない場合は、課程名又は専攻名)まで、大学院は研究科名・課程名、専攻名までを記入。学生時に留学した場合は学歴として記入。)		
昭和○○年○○月 昭和○○年○○月 昭和○○年○○月 昭和○○年○○月 昭和○○年○○月 昭和○○年○○月 昭和○○年○○月	○○高等学校卒業 ○○大学○○学部○○学科入学 ○○大学○○学部○○学科卒業(○○学士) ○○大学大学院○○研究科○○専攻博士課程(前期)入学 ○○大学大学院○○研究科○○専攻博士課程(前期)修了(○○修士) ○○大学大学院○○研究科○○専攻博士課程(後期)入学 ○○大学大学院○○研究科○○専攻博士課程(後期)単位取得満期退学 ○○政府○○留学生として○○大学院に留学(昭和○○年○○月まで)		
学 位 ・ 免 許 等			
年月 (年号は和暦)	事 項 (左の欄には取得年・月を記し、学位名を記入。学位認定大学名・学位記号を学位名の後に()付きで記入。教職免許などの記入も可。免許認定都道府県名・免許記号を免許名の後に()付きで記入。ディグリーミルによる学位は記入不可。)		
昭和○○年○○月 昭和○○年○○月 昭和○○年○○月 昭和○○年○○月 昭和○○年○○月	○○免許状取得(第○○号)(○○教育委員会) 「○○学」、「○○学演習」講師適格判定(○○大学より申請)文部科学省 「○○学」、「○○学演習」准教授適格判定(○○大学) 修士(○○学)の学位取得(○○大学乙第○○号) 博士(○○学)の学位取得(○○大学乙第○○号)		
職 歴			
年月日 (年号は和暦)	事 項 (左の欄には就任年・月・日を記し、事項欄に職名を記入。職名には大学・学部・職位あるいは大学・大学院・研究科・職位、企業名・部局・職名を記入する。各職の退職時の年月日をそれぞれの職名の後に()付きで(○年○月○日まで)と記入。現職は(現在に至る)と記入。)		
昭和○○年○○月○○日 昭和○○年○○月○○日 昭和○○年○○月○○日 昭和○○年○○月○○日 平成○○年○○月○○日 平成○○年○○月○○日	○○大学○○学部○○研究生(昭和○○年○○月○○日まで) ○○大学○○学部助手(昭和○○年○○月○○日まで) 国立○○研究所○○研究員(昭和○○年○○月○○日まで) ○○大学○○学部講師(○○担当)(平成○○年○○月○○日まで) 福岡大学○○学部准教授(○○担当)(現在に至る) ○○在外研究員として○○国○○大学に○○研究のため留学(平成○○年○○月○○日まで)		
職 歴 の う ち 基 幹 教 員 歴			
年月 (年号は和暦)	事 項 (左の欄には就任年・月を記し、事項欄に職名を記入。職名には大学・学部・学科・職位を記入する。各職の退任時の年月をそれぞれの職名の後に()付きで(○年○月まで)と記入。現在も基幹教員の場合は(現在に至る)と記入。)		
令和○○年○○月 令和○○年○○月	○○大学○○学部(○○学科) 講師(令和○○年○○月まで) ○○大学○○学部(○○学科) 准教授(現在に至る)		
学 会 及 び 社 会 に お け る 活 動 等			
年月 (年号は和暦)	事 項 (所属学会、所属学会での役職などを記入。退会・退任している場合はその後に()付きで退会・退任年を(○年○月まで)と記入。現在も所属している場合は(現在に至る)と記入。)		
昭和○○年○○月 昭和○○年○○月 平成○○年○○月 平成○○年○○月	日本○○学会会員(現在に至る) ○○○○学会会員(現在に至る) ○○学会幹事(平成○○年○○月まで) 日本○○学会理事・評議員(平成○○年○○月まで)		



賞 事 項 罰	
年 月 (年号は和暦)	事 項
	(国際機関や国、地方公共団体などの機関や所属学会等からの賞又は職務上の表彰や懲戒処分、研究費の不正受給に係る処分等を記入。)
平成〇〇年〇〇月 平成〇〇年〇〇月 令和〇〇年〇〇月	日本〇〇学会から〇〇により〇〇賞を受賞 〇〇大臣から〇〇功労により〇〇の表彰を受く 〇〇大学から学生へのセクハラ(〇〇に対する性的言動)により懲戒処分、〇日間出勤停止
<p>※国際機関や国、地方公共団体などの機関や所属学会等からの賞又は職務上の表彰や懲戒処分、研究費の不正受給に係る処分等を記入すること。なお、過去に学生に対するセクシュアルハラスメントを含む性暴力等を原因として懲戒処分若しくは分限処分を受けた場合には、処分内容及びその具体的な事由を必ず記入すること。</p>	
<p>本書類の記載内容については事実に相違なく、虚偽の記載があった場合には、採用取消や懲戒処分等の対象となり得ることについて了承します。</p> <p style="text-align: center;">令和 年 月 日</p> <p style="text-align: right;">氏 名 印</p>	

例：研究業績書

別紙②

研 究 業 績 書				
令和 年 月 日				
氏 名 印				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要（共著者名等）
著書 1. ○○○○○○	共著	平成○○年○○月	○○○社	総頁数○○頁中○○頁担当 ○○○○、 <u>本人氏名</u> 、 ○○○○、○○○○
2. ○○○○○○	単著	平成○○年○○月	○○○書店	総頁数○○頁
3. ○○○○○○	共著	平成○○年○○月	○○○堂	総頁数○○頁中、第○編 第○章「○○」（○頁）を担 当 ◎本人氏名、○○○○、 ○○○○、○○○○、
学術論文 1. ○○○○○○	共著	平成○○年○○月	○○学会○○誌 第○○巻○○号	総頁数○○頁 ○○○○、○○○○、 <u>本人氏名</u> 、○○○○、
2. ○○○○○○	共著	平成○○年○○月	○○大学○○学論叢 第○○巻○○号	総頁数○○頁 <u>本人氏名</u> 、○○○○、 ○○○○、○○○○
3. ○○○○○○	単著	平成○○年○○月	○○学会誌○○○ 第○○巻○○号	総頁数○○頁
4. ○○○○○○（博士論文）	単著	平成○○年○○月	○○○書店	総頁数○○頁
その他 判例評釈 翻 訳 1. ○○○○○○	共訳	平成○○年○○月	○○○社	総頁数○○頁中、第○編 第○章「○○」（○頁）を担 当 ○○○○、○○○○、 <u>本人氏名</u> 、○○○○、
2. ○○○○○○	単訳	平成○○年○○月	○○○堂	総頁数○○頁
学会発表 1. ○○○○○○	共同	平成○○年○○月	第○回日本○○学会 全国大会（○○大学）	<u>本人氏名</u> 、○○○○、 ○○○○、○○○○
2. ○○○○○○	単独	平成○○年○○月	第○回日本○○学会 全国大会（○○大学）	

No. _____